

11 / 25

# 子育て世代の公園の 利用促進に向けて

## わくわくドキドキ・かめだわんパークオープン



11月25日(木)、亀田記念公園レストハウス2階に、『わくわくドキドキ・かめだわんパーク』がオープンしました。

この事業は、今年度の特別予算枠に設けられた『明日のまちづくり事業』の一つ『わくわくドキドキ・かめだわんパーク』の一環として、2階の休憩室を改修キッズコーナーや授乳コーナー、テーブルなどを配したフリースペースを整備しました。

今年度は毎週月、水、金曜日(祝祭日を除く)の10時30分～14時を試行的に開放し、意見や感想などをもらいながら来年度の本格実施につなげる予定です。

この日訪れた親子は、「子育て中のお母さんたちにとって、こういうスペースがあるのはとてもありがたいです。利用者がたくさん増えて、交流が活発になればいいですね」と話してくれました。

## 初めて打ったそばは どんな味？

12 / 5-6

年越しは手打ちそばで教室

12月5日(土)・6日(日)、文化伝承館(郷土資料館横)で『年越しは手打ちそばで教室』(市主催)が行われ、2日間で24人が手打ちそばに挑戦しました。

この教室は、郷土資料館ボランティアグループSLGが講師や手伝いとして、そば打ちを指導。参加者らは、講師の見事なそば打ちを見た後、早速各自そば打ちを開始し、「水回しでそばの出来の7割が決まる。絶対に手を抜いてはダメ」など、SLGからアドバイスを受けながら、初めての水回しやこね、のし、切りなどの行程を体験しました。

その後、SLGの作ったそばを試食し、参加者からは、「さすが講師の先生のおそばはおいしい。自分の作ったそばはどんな味か、さっそく帰って家族で食べてみよう」と話していました。



▲指導を受けながらそば打ちに挑戦する参加者

## 子どもの目線で 環境保全を訴える

11 / 27

小・中学生による環境ポスター展表彰式



▲表彰式後、入賞者全員で記念撮影

11月27日(金)、アーニスで小・中学生による環境ポスター展(市主催)の表彰式が行われました。

この催しは、一昨行われた北海道洞爺湖サミットを契機に、環境学習の一環として実施しているもので2回目の今回は、159人から応募がありました。

16時30分から行われた表彰式では金賞10人、銀賞8人、銅賞8人に小笠原市長が賞状と記念品を手渡し「未来の地球環境を創るために、良いと思ったことはすぐに実行してほしい」と述べました。

また、審査員を務めた環境保全市民会議の仲川弘誓会長から「デザインはもとより、人をひきつけるコピーが素晴らしい」との講評がありました。

入賞作品は30日(月)まで展示され、来店した方に環境保全の大切さを訴えました。